

TEAM INNOVEX

イノベックスの目指すもの

市場の変化に対応し、最適なソリューションを提供し続けることで、持続的なビジネスの成長を追求し続けます



エコアクション21環境経営レポート 2023年度



株式会社イノベックス
ダイオ袋井工場、ダイオ掛川工場

対象期間：2023年4月1日～2024年3月31日



株式会社 **イノベックス**

目次

項目	頁
1. 環境経営方針	2
2. 会社概要	3
3. 主要製品	4
4. 取組体系	5
5. 今年度の環境経営目標・環境経営計画	6-8
6. 目標達成への取組	9-10
7. 次年度の環境経営計画	11
8. 環境関連法規の遵守状況	12
9. 代表者による全体の評価と見直し・指示	13

1.環境経営方針

環境経営方針

当社は「環境に優しい企業を目指す」ことを企業理念の一つとし、豊かな生活環境を維持・継続させる為に、従業員一丸となって自然環境との共生・調和を目指し、環境負荷の継続的低減のため、行動指針を次のように定めます。

〔行動指針〕

1. 二酸化炭素排出量の削減に努めます。
2. 廃棄物排出量の削減、及びリサイクルに努めます。
3. 水使用量削減の為、節水に努めます。
4. 環境負荷の少ないエネルギーへの転換と高効率設備の導入による省エネルギーを進めます。
5. 製品に含まれる化学物質を把握をし、適切な使用に努めます。
6. 環境配慮型製品の拡販に努めます。
7. 環境に関する法規制及びその他の要求事項を遵守し地域社会との調和に努めます。
8. 環境に配慮した行動が出来るように本活動を全社員に周知し、環境保全意識の向上に努めます。
9. 環境経営の継続的な改善に努めます。
10. 目標達成の為の計画実施状況を確認し、妥当性と有効性を、見直します。

2007年6月1日制定	(ダイオ化成)
2011年4月1日改定	(ダイオ化成)
2020年4月1日継続確認	(イノベックス)
2022年10月1日改定	(イノベックス)
2023年4月1日改定	(イノベックス)

株式会社イノベックス
執行役員 生産本部長 兼 袋井・掛川統括

杉本 康典

2.会社概要

会社概要	
社名	株式会社 イノベックス
資本金	100,000千円
対象拠点	
ダイオ袋井工場	静岡県袋井市国本1131-1
ダイオ掛川工場	静岡県掛川市淡陽69-1
環境管理責任者	執行役員 生産本部長 兼 袋井掛川統括 杉本 康典
事業規模	2024年3月期
売上高	15,935百万円(INX単独)
対象 社員数	117人(2023.4.1現在)
対象 事業内容	・住宅用防虫網等各種資材網の設計開発及び製造 ・非合成繊維住宅用各種防虫網、農業用、建築用、 土木用等資材の仕入れ・販売

3.主要製品

わたしたちは世界で初めて合成繊維による窓用の防虫網を開発。
以来、防虫網で培った技術を農業分野、建築・土木分野、生活資材分野等へ応用し、
お客様のニーズにお応えすべく、様々なソリューションをご提供しております。

住宅用防虫網

窓からの虫の侵入を防ぎ、快適な生活環境の創出にお役立ていただいています。



生活資材

網戸の張替、園芸、日よけなど、DIYの分野で様々にお役立ていただけるネットを取り揃えています。



網戸張替用のネットと張替用品



カラス除けに、 日よけに、 菜園に、

農業資材

遮光、遮熱、防風、防草、防虫、保温、防雹、防獣、防鳥、防霜等、『ネットの力』を通じて農業をサポートします。



土木資材

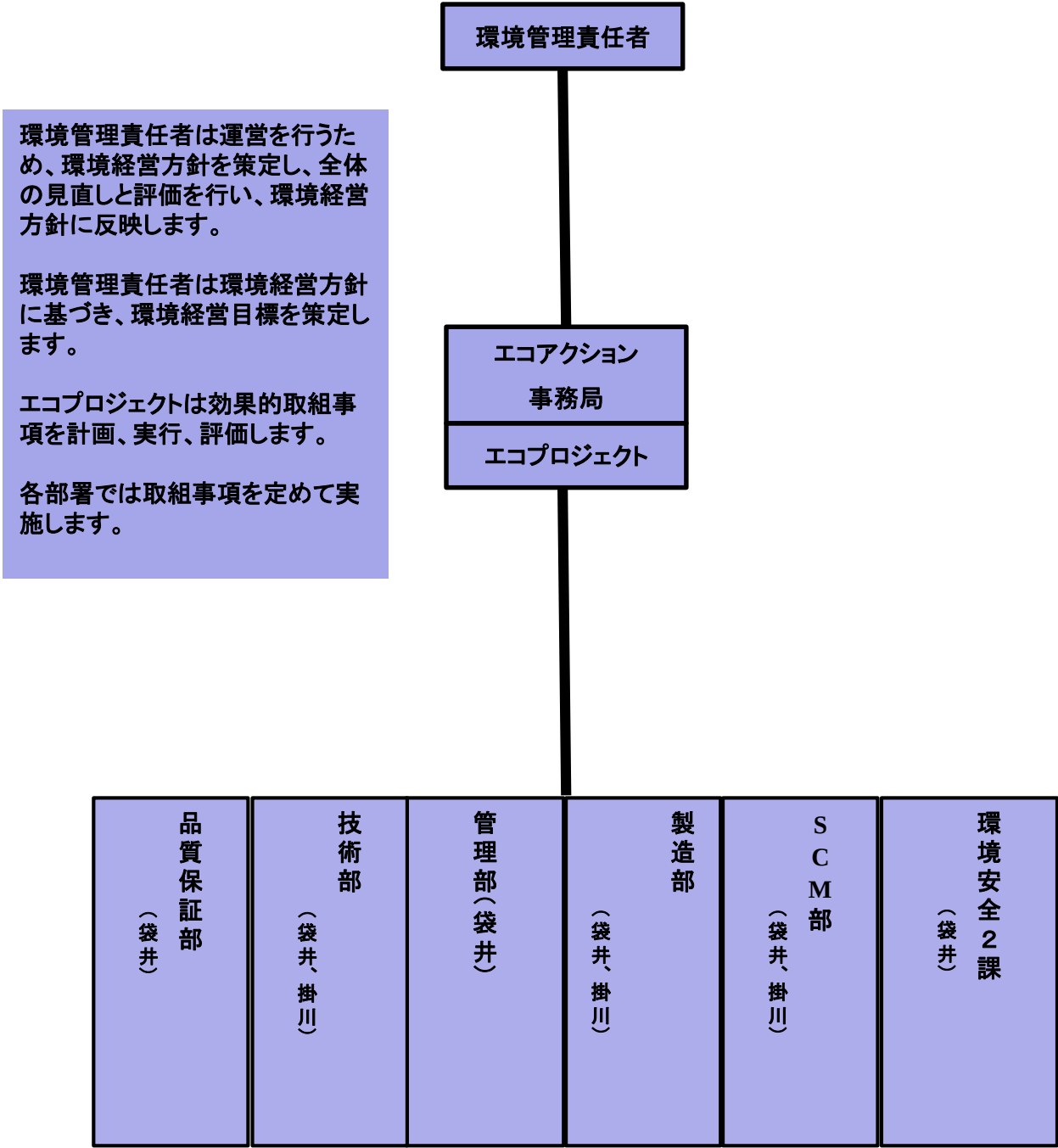
建設工事で使用される防災シート、フェンスネット。土木工事で使用される植生ネット。
建築・土木の分野にも『ネットの力』が活かれています。



4.取組体系

エコアクション21取組体系 組織図

製品の開発、生産、販売において、環境負荷の低減、事故防止、資源の有効活用を図り、地域社会との調和と取組を継続的に改善していくため、当社は以下の組織体系を整えています。



5.今年度の環境経営目標・環境経営計画

実排出係数：2022年中部電力 0.433kg-CO2/kWh（2022年～2024年）

◆製品1トンあたりの二酸化炭素排出量の削減 ・3年間で平均1%削減(3年で3%削減)
袋井工場、掛川工場ともに、2023年度は生産調整による生産量減小(紡糸課、織布課)の影響にて全体的な生産量減少及び生産機械の稼働量が減少した背景の下、重量ベース原単位としては目標値を上回る結果になる。
(注記)製品1トンあたりのCO2量を算出しているため、2工場合算の実績値は各工場実績値の合計とは異なります。

サイト	項目	BM 目標値、実績値(kg-CO2/t)					評価
		2020,2021 年度Avg.	2022年度	2023年度	2024年度	平均	
袋井工場	目標値	基準値	—	—	—	730.5	✕
	実績値	753.1	737.7	842.1	—	789.9	
	削減率	—	-1.1%	+11.8%	—	+4.9%	
掛川工場	目標値	基準値	—	—	—	633.5	✕
	実績値	653.1	646.3	662.5	—	654.4	
	削減率	—	-1.0%	+1.4%	—	+0.2%	
2工場 合算	目標値	基準値	—	—	—	671.1	✕
	実績値	691.9	680.0	721.4	—	700.7	
	削減率	—	-1.7%	+4.3%	—	+1.3%	
	CO2排出	3,075 t	2,717 t	2,270 t	—	2,494 t	—

取組内容		責任者	担当	実施内容	評価	
節電	空調使用時の室温管理	各部署長	工場全体	冷房28℃、暖房20℃	△	継続実施
	冷房の補助		工場全体	扇風機の併用	○	継続実施
	休憩時間・不要時照明消灯		全社	定期チェック、掲示	○	継続実施
	蛍光灯の早期交換		工場全体	チラつき発見次第交換	△	継続実施
	LED照明対応		工場全体	生産棟、倉庫棟、屋外灯	△	継続実施
	エアー配管漏れ点検		生産部署	長期休暇明け点検	○	継続実施
	ワインダーアイドルリング短縮	紡糸課長	紡糸課	5分程度を目途	○	継続実施
燃料 節減	地中熱空調設備導入	袋井工場長	袋井工場	地中熱利用	○	新規実施
	無駄アイドルリング停止	各部署長	工場全体	停車時アイドルリング停止	○	継続実施
	燃料リフト利用最小限化		工場全体	重量物のみ使用	○	継続実施

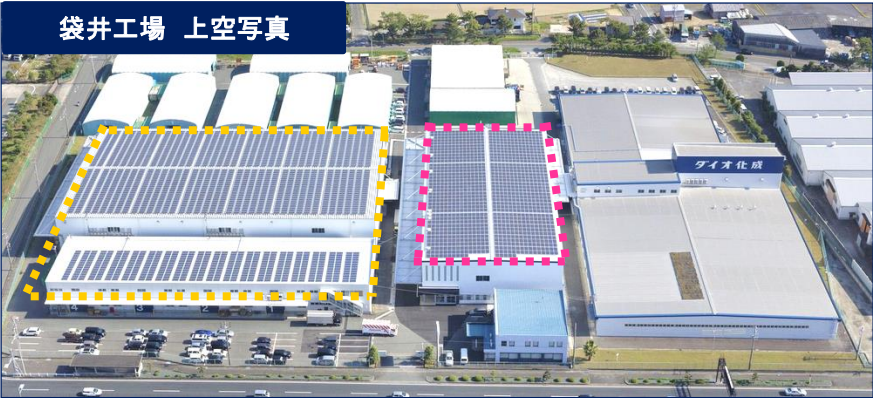
5.今年度の環境経営目標・環境経営計画

◆埋立廃棄物排出量の削減(3年間で平均 20,21年平均と同等)
 2023年度の埋立処理となる廃棄物は、掛川工場3回、袋井工場10回の回収となった。
 袋井工場の殆どが輸入品を検反した不良分であるが仕入先変更、運用改善による
 効果で全体廃棄量は減少した。

サイト	項目	目標値、実績値(t)					評価
		2020,2021 年度Avg.	2022年度	2023年度	2024年度	平均	
袋井工場	目標値	—	29.9	29.9	29.9	29.9	○
	実績値	29.9	34.7	28.4	—	31.6	
	削減率	—	+16.1%	-5.0%	—	+4.3%	
掛川工場	目標値	—	3.2	3.2	3.2	3.2	✕
	実績値	3.2	5.1	3.8	—	4.5	
	削減率	—	+59.4%	+18.8%	—	+40.6%	
2工場 合算	目標値	基準値	16.6	16.6	16.6	16.6	○
	実績値	16.6	19.9	16.1	—	18.0	
	削減率	—	+19.9%	-3.0%	—	+8.4%	

取組内容		責任者	担当	実施内容	評価	
分別	・廃棄物の分別徹底	各部署長	工場全体	資源WGで推進	○	継続実施
	・紙類		工場全体	分別して再資源化	○	継続実施
	・廃プラスチック		工場全体	分別して再資源化	○	継続実施
	・ウエス		工場全体	段階的に再利用	○	継続実施
	・廃蛍光灯		工場全体	指定業者に委託	○	継続実施
	・金属くず		工場全体	可能な限り分別	○	継続実施

◆太陽光発電の効果（全量売電のため、参考として）
 発電実績 2023:826,224.0kWh CO2換算:39,080.4kg
 2022:818,662.0kWh CO2換算:38,722.4kg
 2021:731,843.7kWh CO2換算:34,616.2kg(パワコン故障により発電量減)



5.今年度の環境経営目標・環境経営計画

◆水使用量の削減(3年間で平均 20,21年度平均と同等)

全体で目標値とほぼ同等。袋井工場はボイラー設備撤去により使用量半減。掛川工場はフロート不具合による増加が一時的に発生するが以後は毎日の検針を実施するなどの対応をして下期の使用量は前期を下回る。

サイト	項目	目標値、実績値(m³)					評価
		2020,2021年度Avg.	2022年度	2023年度	2024年度	平均	
袋井工場	目標値	基準値	3,640	3,640	3,640	3,640	○
	実績値	3,640	3,679	1,880	—	2,780	
	削減率	—	+1.1%	-48.4%	—	-23.6%	
掛川工場	目標値	基準値	16,468	16,468	16,468	16,468	✕
	実績値	16,468	16,767	17,832	—	17,300	
	削減率	—	+1.8%	+8.3%	—	+5.1%	
合計	目標値	基準値	20,108	20,108	20,108	20,108	○
	実績値	20,108	20,446	19,712	—	20,079	
	削減率	—	+1.7%	-2.0%	—	-0.1%	

取組内容		責任者	担当	実施内容	評価	
節水	掛川工場水道使用量チェック	掛川工場長	掛川工場長	毎日検針	○	継続実施
	冷却水オーバーフロー量減	紡糸課長	紡糸課	タンク流出口改良	○	実施済
	パウダーブレーキ冷却水	織布課長	織布整経係	必要時のみ通水	○	継続実施
	フロートバルブ点検	袋井・掛川工場長	安全パトロール	防火水槽点検	○	継続実施
	クーリングタワー、ボイラー給水カウント	紡糸課長	紡糸課	月次報告	○	継続実施

◆ダイオ袋井・掛川避難訓練(油流出防止訓練)



2023/10/31 袋井工場 避難訓練にて、油外部流出防止の訓練実施

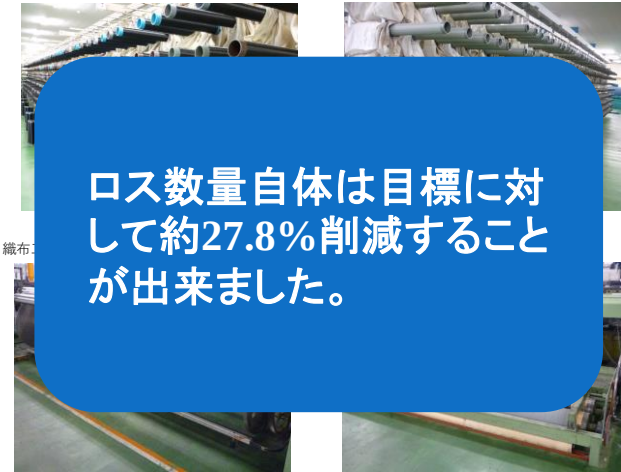


2023/10/30 掛川工場 避難訓練にて、油外部流出防止の訓練実施

6.目標達成への取組

◆工程ロスワーキンググループ

織布整経工程（残糸ロス）



仕上検査工程（不良反）



織布工程（特殊巾ロス）



織布工程（捨て耳ロス）



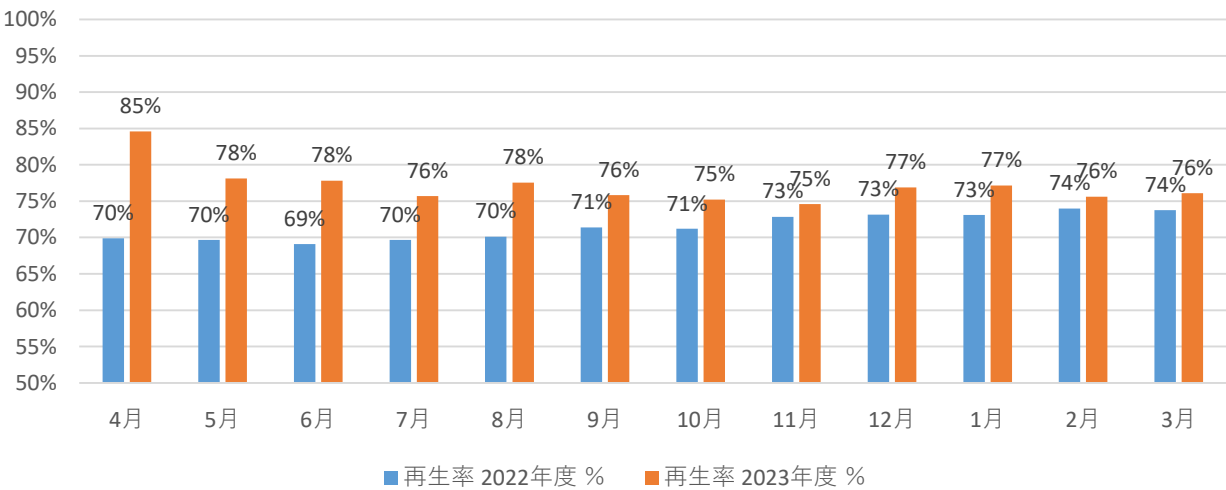
- 1) 毎月工程ロスの算出から現状把握を実施
- 2) PDCAサイクルに則った削減計画を策定、実施
- 3) 毎月の打合せを通じて目標達成状況の確認、対策展開を図っています。

◆資源ワーキンググループ

ダイオ袋井工場にて焼却処理していた廃プラスチックの分別見直しを行い、新規再生処理業者へ運用変更する。

廃プラスチック再生率 74%（2022年度）⇒ 76%(2023年度）に改善する。

産廃再生率の推移（累計）



6.目標達成への取組

◆設備ワーキンググループ

1) 老朽化空調設備更新 (省エネ・環境に配慮した取り組み)



2) 設備定期点検の管理 法定点検等、設備の定期点検を管理し適切な設備運営を図っています。



3) 第二種圧力容器自主点検 各部署設置コンプレッサの点検実施



◆自ら生産・販売する製商品への取組

当社の楽天市場、PayPayモール、Amazonでのオンラインショップからのご注文・出荷に対して、環境面への配慮から、包装が過剰にならないよう、オンラインショップ配送に使用する包装材を見直しています。

2023年	0.40kg/件	※ 1件当りの数量、重量増加
2022年	0.25kg/件	
2021年	0.25kg/件	
2020年	0.28kg/件	



7.次年度の環境経営計画

2023年度の活動、取組結果を受け、2024年度は以下の取組内容を行います。環境経営目標はP6～P8の内容を継続とします。

①温室効果ガス排出量削減

内容	項目	責任者	担当	実施内容
節電	空調使用時に室温管理	各部署長	袋井、掛川	冷房28℃、暖房20℃を目安とする
	冷房の補助		袋井、掛川	扇風機を併用する
	休憩時間、不要な照明消灯		袋井、掛川	定期チェック、掲示をする
	蛍光灯の早期交換		袋井、掛川	チラつきを発見次第交換
	LED照明対応		袋井、掛川	生産棟、倉庫棟、屋外灯
	エアー配管漏れ点検		生産工場	長期休暇明けに点検
	燃料リフトの使用最小限化		袋井、掛川	重量物のみ燃料リフトを使用する
	無駄なアイドリング停止		袋井、掛川	停車時はアイドリングを停止する
エネルギーの変更	地中熱空調設備の運用	袋井工場長	袋井	運用方法の確立
WG	省エネ対象設備の定期点検・実施管理	設備WGリーダー	設備WG	点検管理表に基づく、定期点検の完全実施

②廃棄物最終処分量削減

内容	項目	責任者	担当	実施内容
分別	ごみの分別実施 ・紙ごみ ・廃プラスチック ・ウエス ・廃蛍光灯 ・金属くず	各部署長	袋井、掛川	資源WGにて定めた分類に従う 可能な限り分別して再資源化する 可能な限り分別して再資源化する 段階的に再利用する 指定業者に委託する 可能な限り分別する
	PP端材の再生向け分別	各部署長	袋井、掛川	地域循環再生向けに分別する
WG	廃棄物の資源化の取組	資源WGリーダー	資源WG	廃棄物処理業者の検討
	ロス削減の取組	工程ロスWGリーダー	工程ロスWG	毎月打合せ実施

③水使用量削減

内容	項目	責任者	担当	実施内容
節水	冷却水オーバーフロー量減	紡糸課長	紡糸課	タンクの流出口改良
	パウダーブレイキ冷却水	織布課長	織布整経係	冷却水必要時のみ通水する
	クーリングタワー、ボイラー	紡糸課長	紡糸課	水使用量の月次報告をする
	給水メーターカウント			

④自らが生産、販売、提供する製品の環境性能の向上及びサービスの改善

内容	項目	責任者	担当	実施内容
把握	包装資材の節減	物流課長	EC向け出荷	簡易包装の実施

⑤化学物質管理

内容	項目	責任者	担当	実施内容
把握	PRTR法に基づく管理	品証2課長	品質保証部	届出の実施、対象物質の把握

8.環境関連法規の遵守状況

環境関連法規遵守状況

当社に適用される環境関連法規の遵守状況を確認した結果、訴訟・違反はありませんでした。
2023年1月袋井工場空調設備に地中熱源を利用し環境に配慮した設備(重油使用ゼロ)の稼働を開始しました。

2024.6.1 (株)イノベックス 環境管理責任者

法規名	対象等	内容、基準値、他	対象工場	遵守状況
水質汚濁防止法	貯油施設	油地下浸透防止構造、使用方法、点検	掛川	○
騒音規制法	織機、送風機、クーリングタワー	騒音に係る特定施設 基準値以内	袋井、掛川	○
振動規制法	織機、空調機	振動に係る特定施設 基準値以内	袋井、掛川	○
労働安全衛生法	化学物質リスクアセスメント	化学物質リスクアセスメント実施	袋井、掛川	○
PRTR法	指定化学物質	経済産業大臣届出	袋井、掛川	○
廃棄物処理法	委託契約書締結	産業廃棄物処理委託標準契約書・許可書		○
		産業廃棄物収集・運搬委託基本契約書		
	マニフェスト	産業廃棄物管理票交付等状況報告書	—	
		県外産業廃棄物搬入状況報告書	—	
		マニフェスト交付、保存、確認	袋井、掛川	
静岡県産業廃棄物条例	最終処分場確認	現地確認	—	○
消防法	少量危険物貯蔵届出	ガソリン、灯油、潤滑油	袋井	○
	少量危険物貯蔵・取扱届出	マシン油、灯油	掛川	
	少量危険物変更届出	A重油	掛川	
フロン排出抑制法	室外機、チラー	3カ月毎の簡易点検、定期点検の実施	袋井、掛川	○
浄化槽法	浄化槽施設	法定点検 基準値以内	袋井、掛川	○
省エネ法	特定事業者	中長期計画書	全社	○
		定期報告書	全社	
容器包装リサイクル法	特定事業者	再商品化委託契約申込	袋井、掛川	○
		再商品化委託量精算	袋井、掛川	
家電リサイクル法	対象機器	廃棄等無し	袋井、掛川	○
自動車リサイクル法	自動車	廃棄等無し	袋井、掛川	○

環境関連法規に係る責任者

法規名	資格	氏名
労働安全衛生法	第一種衛生管理者	名倉 克祐
消防法	危険物取扱者乙4類	宮城 晋二
	防火防災管理者	平野 秀明
省エネ法	エネルギー管理統括者	浅見 昌之
	エネルギー管理企画推進者	小澤 一浩

9.代表者による全体の評価と見直し・指示

全体評価、コメント
環境経営目標に対する2023年実績は、製品1t当たりの二酸化炭素排出量の削減が未達成でしたが、埋立廃棄物排出量の削減、水使用量の削減は目標達成となりました。 製品1tあたりの二酸化炭素排出量削減目標の未達は生産調整による生産量減少の影響が大きいものの、熱中症対策により電気設備の負荷が増加したことも要因の一つと推測されます。同年度導入の地中熱空調システムの効果検証とともに次回の目標設定時に取り上げるべきテーマだと考えます。 今期、外部からの環境に関する苦情や要望はありませんでした。
環境経営方針、環境経営目標、環境経営計画、実施体制等の変更の必要性
①環境経営方針 2023年度の実績・内容を鑑み、環境方針の変更は行わない事とします。 ②環境経営目標、環境経営計画 2024年度は2023年度の目標を継続します。 ③実施体制等 実施体制の変更は行いません。 しかしながら環境経営に資する案件がある場合はフレキシブルに組み込みします。
中長期における活動の俯瞰的外観、ビジョン
中長期的な活動としては、継続して以下の項目に取り組む事とします。 ①二酸化炭素、廃棄物、排水量の削減は主要取り組み事項として活動の中心とします。 ②エコプロジェクト会議、ワーキンググループ活動等を通じて、 環境の改善、教育の機会の増加、職場活性等を図っていきます。 ③地域への協力、CSR活動を通じて、近隣地域への貢献を図ります。 ④広く社員が参画することで、取組項目を更に抽出し、活動の定着・推進を図ります。
評価者
2024年6月28日 執行役員 生産本部長 兼 袋井・掛川統括 杉本康典

発行日 2024年8月20日

発行者 〒104-0044
東京都中央区明石町8-1
聖路加タワー13階
株式会社イノベックス

ご意見、お問い合わせは
下記までお願い致します。
エコアクション21事務局
TEL 0538-42-4133
FAX 0538-43-4134